
Brain Syndrome

uduki maya

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Brain Syndrome

【Nコード】

N1676Z

【作者名】

uduki maya

【あらすじ】

西暦1990年初頭、世界に新しい病が広がった。OverActive Brain Syndrome「脳過活動症候群」、文字通り脳の活動が通常よりも亢進してしまう病。その病により一般人よりも脳的能力を行使できる人々は脳力者と呼ばれた。脳力を隠す少年は、いつしか脳力者同士の争いにその身を委ねていくことになる。繰り広げられる能力者同士の戦いの中で、少年が見るものは……。

人権団体と称したテロ組織や、謎の組織、警察、政府を巻き込んだ

大事件に立ち向かう少年少女の活躍に乞うご期待！

R15と残酷な描写ありをつけているのは、一応です。
基本的に全年齢に対応です。

プロローグ（前書き）

見苦しい文書には、叱咤と寛容な心を。
評価に値する文書には、激励と戒めを。
精一杯書きますのでよろしくおねがいます。

ブローグ

西暦1990年初頭、世界に新しい病が広がった。

Over Active Brain Syndrome「脳過活動症候群」、文字通り脳の活動が通常よりも亢進してしまう病。シナプスを介した脳の電気的情報伝達が過剰になってしまい、脳組織の破壊を引き起こす。多くの人々を短命に導いた病は世界に震撼を引き起こした。

しかし、OBS（英語の頭文字をとってそのように呼ばれていた）にかかった患者は破壊と同時に一つの効用を得ることになる。脳の情報伝達が通常よりも亢進することで、脳的能力が通常のそれとは比べ物にならなくらい向上したのだ。その能力を行使し、病に対する特效薬が作られたのは、OBSが世間に認知されてからわずか3年後のことだった。それ以来、OBS患者の脳の過活動は抑えられ、健常人と同様の寿命を得ることができた。

特效薬の登場で病は収束を迎えると思われたのだが、定期的な特效薬の服用を行っても脳の過活動は完全に抑えられるわけではなく、一般の人よりも活動は亢進していることがわかった。それによる脳的能力向上は抑えられることはできなかったのだ。OBS患者は、その脳の過活動に伴う超能力を保有することになり、脳力者と呼ばれるに至った。

しかし、脳力者は担ぎ上げられるわけでもなく、もてはやされるわけでもなく、重い病気の患者であり、わけのわからない能力を持っている気味の悪い障害者と世間では認知されていた。そのため脳力者はその脳力を世間では障害と識別され、ある人は同情の目で、ある人は侮蔑の目で脳力者たちを見るようになっていた。

脳力者達が世間の目を避けて生きるようになり十数年後、日本。そこでも、脳力者達を取り巻く環境は何一つ変わることなく安穩に時は過ぎていた。まるで、激しい変容が始まる前の静寂の如く……。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1676z/>

Brain Syndrome

2011年12月5日23時37分発行